

令和8年度第2回坂井市地域公共交通会議 会議録

開催日時 令和8年8月25日(火)午後2時00分～

場 所 多目的研修集会施設1階 交流ホール

出席者 三寺会長

住民代表:嶋川委員、高間委員、大崎委員、前田委員

関係機関:平井委員、中村委員(代理出席)、辻_良委員、岡本委員、進士委員、
清水委員、東山委員、西委員、関委員、島田委員

事業者:佐々木委員、小林委員、矢崎委員、松田委員

関係部署:辻_貴委員、伊藤_正委員、伊藤_剛委員、高橋委員 (計23名)

欠席者 住民代表:川崎委員

事業者:坂上委員 (計2名)

事務局 生活環境部・浦部長、公共交通対策課・島野課長、高嶋、小林、西澤、小藤

1. 開会

2. 会長あいさつ

5. その他(順番を変更)

(1)無償互助送迎「ノッケル倶楽部Ⅱ」の事業説明

<一社)地域共創坂井> 事業概要説明

<タクシー協会>

福井県タクシー協会坂井支部長という立場である。無料運行というならいいが、将来的に有料となってくるなら、タクシーやバスと被る点があり、有料でされるなら絶対反対である。

<会長>

実際に運行する場合にはこの会議で、皆さんのご意見等を伺いながら、やっていくべきかどうかの議論をしていく必要がある。非常に重要なご指摘だ。

<社会福祉協議会>

習い事や塾、書道なども対象に考えておられるのか。

<一社)地域共創坂井>

中学校の部活動が地域移行されている状況を踏まえ、そちらを先行しているが、塾、習い事も、今後調査の予定ではいる。ただ、習い事は、少人数での個別対応が多いような場合もあり、どこまで広げられるかは未定。

<えちぜん鉄道>

対象は坂井市内に限られるということか。

<一社)地域共創坂井>

令和8年度の補助事業としての採択は坂井市内エリアとなっている。今年度は他地域についてはしないが、将来的には可能性はある。

<会長>

あくまでも「その他」で、報告の扱いで皆さんに情報共有させていただいた。これは地域の公共交通という位置付けではない。公共交通の空白地域のカテゴリで補助金申請されていたようだが、厳密に言うとそのカテゴリではなく、公共交通がある地域で重複するような事業なのかと感じている。この事業を継続するなら、しっかり議論していかないとならない。あくまでも今回の公共交通会議では、是非を問うものではない。実験の状況を、今後の会議でぜひ情報共有していただくことを引き続きお願いしたい。

3. 協議事項

(1)坂井市オンデマンド型交通の停留所について（資料1）

<事務局>（資料1に基づき説明）

<会長>

新設停留所を増やすことと合わせて、必要ないところを精査することも必要である。委員皆さんの周りで気になるところがあったら、事務局の方にぜひ、お声掛けいただき検討していただきたい。

【質問無し】

【賛成全員につき、承認】

4. 報告事項

(1)京福バス 10月ダイヤ改正について（資料2）

<京福バス>（資料2に沿って説明）

三国方面から福井駅へ向かう際、鶉三国線と越前海岸ブルーラインの「福井総合病院」で乗り継ぐが、運行状況により、乗り継げない場合があり、その解消のためのダイヤ改正。

<会長>

福井総合病院で乗り換えるお客様は何人くらいか。

<京福バス>

特定の方で1日数名である。

<バス協会>

ダイヤ改正について異論はないが、運用で、乗継ぎするから、このバスが来なければ、出ないということはしていないのかを確認したい。10 分の待ち時間を待つのはそれはそれで大変になる。

<京福バス>

(越前海岸ブルーラインの、福井総合病院は)始発の停留所ではないため、調整を行ってこない。そういうご意見をいただいたので、前向きに対応を検討したい。

<会長>

これから京福バス株式会社で、ほかの交通との接続や、今の運用のことを検討されて、再び修正があって報告が必要なときは、会議か、メールか何かで伝達させていただく可能性もある。

(2)タクシーの運賃改定について(資料3)

<タクシー協会> (資料3に沿って説明)

<会長>

他地域では足りないと聞くと、坂井市のタクシー車両は足りているのか教えていただきたい。

<タクシー協会>

坂井市は、おおむね足りているが、朝のピーク時と深夜に足りないと言われる。どこの市町においても同じような傾向にある。

5. その他

<会長>

えちぜん鉄道のチラシについて説明をお願いします。

<えちぜん鉄道>

落石事故での車両修繕に対するクラウドファンディング

沿線魅力紹介イベント 第2弾は9月11日。第3弾4弾を企画中。

<会長>

第1弾は花火の日にされたようだが、いかがだったか。

<えちぜん鉄道>

第1弾は、7月31日だった。短時間の滞在や、長時間楽しめる方、新幹線や列車の待ち時間での利用など思い思いに過ごされていた。

<会長>

イベントの時間が早くに終わってしまうように思う。終電の時間くらいまでやっていただけるとよいのではないかなと思う。

<えちぜん鉄道>

こちらは、参加店とも話し合いをして決めている。第1弾は22時までであった。アルコールだけでなく、お昼の時間帯の企画も考えている。

<会長>

全体を通して、何か気づきとしてあれば。

<社会福祉協議会>

あわら市へ行ったときに、集落の中へ入っていったところに、「〇〇パーマ店前」というバス停があった。坂井市でも、個人店を支援する意味でも、オンデマンド型交通の停留所の名前に入れるのはどうかなと思う。多少広告料をいただいてもいいとも思う。

<会長>

素敵な提案だと思う。オンデマンド型交通の停留所に取り入れて、うまく宣伝に使ってもらう、多少の広告料をいただいて、Win-Win の関係だと思う。事務局から何かあるか。

<事務局>

現在、市の財源のみで運行している。広告料とか別の財源を求めて運行していくことを考えていくのは重要なことだと思っている。検討していきたい。

<福井運輸支局>

コミュニティバス停では、他の自治体の例もあり、そういったところを参考にさせていただければいい。ほかに、タクシーの車内には難しいかもしれないが、広告を出してもらうというのもある。

<県交通まちづくり課>

報告事項(1)についてお聞きしたい。えちぜん鉄道の時刻表と京福バスの時刻表を見て、この乗継は改定の影響はあるのか。

<京福バス>

えちぜん鉄道は、1時間に2本運行されており、最大30分待ちであるので、許容範囲だろうと考えている。

<えちぜん鉄道>

乗継のお客様について、あまり把握はできていないが、時間的に問題ないかなと思う。

<会長>

交通モードとの最終確認は京福バスの方で丁寧にしていただきたい。

6. 閉会